

第134期 株主通信

2013年4月1日～2014年3月31日



CONTENTS

- 1 株主の皆さまへ
- 2 業績の概況
- 3 CSR報告書 特集ダイジェスト
- 5 営業の概況
- 9 連結財務諸表の概要
- 11 株式の状況
- 13 共同印刷グループネットワーク

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第134期(2013年4月1日～2014年3月31日)の決算が終了いたしましたので、事業概況をご報告申し上げます。

昨年度の印刷業界は、情報通信技術の発達や携帯情報端末の普及による印刷需要縮小と、それに伴う受注単価の下落、さらに原材料価格の上昇などが加わり、引き続き厳しい事業環境となりました。こうしたなか、共同印刷グループは各事業分野の事業領域を拡大するための諸施策に全社一丸で取り組んでまいりました。その結果、当期における業績につきましては売上高・利益ともに前年同期を上回りました。

なお、当期の期末配当金は前期同様1株につき4円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は1株につき8円とさせていただきます。

今後は、政府の経済対策や東京五輪開催決定などにより景気的好循環が期待されるものの、紙媒体を中心とした印刷市場の縮小傾向に反転の兆しは窺えず、印刷業界を取り巻く環境は今後も不透明な状況で推移することが予想されます。当グループでは、このような変化に迅速に対処すべく、一層の経営基盤の充実と積極的な事業活動の展開に努めてまいります。情報系事業分野では、お客さまの潜在的な課題解決に貢献する付加価値の高いソリューション提案を推進するとともに、新事業の開拓に注力してまいります。生活・産業資材系事業分野では、競争力のある新製品の開発を推進するとともに、海外に製造販売拠点を設置するなど新たな市場を開拓することで、高機能製品の拡販を積極的に推し進めてまいります。

当グループは総力を結集して、競争力のさらなる強化を図り、新たな需要を創出し事業領域を拡大することで成長性を高め、企業価値の向上をめざしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2014年6月

代表取締役社長 **藤森康彰**



業績の概況

当期におけるわが国経済は、政府の経済対策や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の影響などにより、緩やかな回復の動きが見られました。一方、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化や円安に伴う原材料価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続きました。印刷業界におきましても、電子メディアの普及による紙媒体の需要減少に加え、競争激化に伴う受注価格の下落などにより、厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、共同印刷グループは中期経営方針「強みを活かし事業領域を拡大して利益を創出する」に基づき、グループ一丸となって業績の向上に取り組みました。出版商印刷部門およびビジネスメディア部門からなる情報系事業ではトータルソリューション提案をさら

に推進し、販促支援サービスや業務支援サービスの受注拡大を図りました。生活・産業資材系事業では独自技術を生かした高機能製品の拡販により、新たな需要の創出と事業領域の拡大を推進しました。

また、外注加工費低減などのコストダウン施策に加え、省力化設備導入による効率化を進めるとともに、採算管理を強化することで利益向上に努めました。

その結果、当期における業績は、売上高は944億7千9百万円(前期比0.3%増)となり、営業利益は21億円(前期比15.8%増)、経常利益は28億3千2百万円(前期比15.9%増)、当期純利益は15億9千2百万円(前期比10.8%増)となりました。

単位:百万円

	前期(2013年3月期)	当期(2014年3月期)	増減率
連結売上高	94,220	94,479	0.3%
連結営業利益	1,813	2,100	15.8%
連結経常利益	2,443	2,832	15.9%
連結当期純利益	1,437	1,592	10.8%
一株当たりの配当金	8円	8円	—

バリューチェーンの 見直しによる 社会的コストの低減を図る 生産体制の構築

共同印刷グループは、
新たな技術やサービスの提供を通じて
社会問題の解決に取り組んできました。
その一端をダイジェストでお届けします。

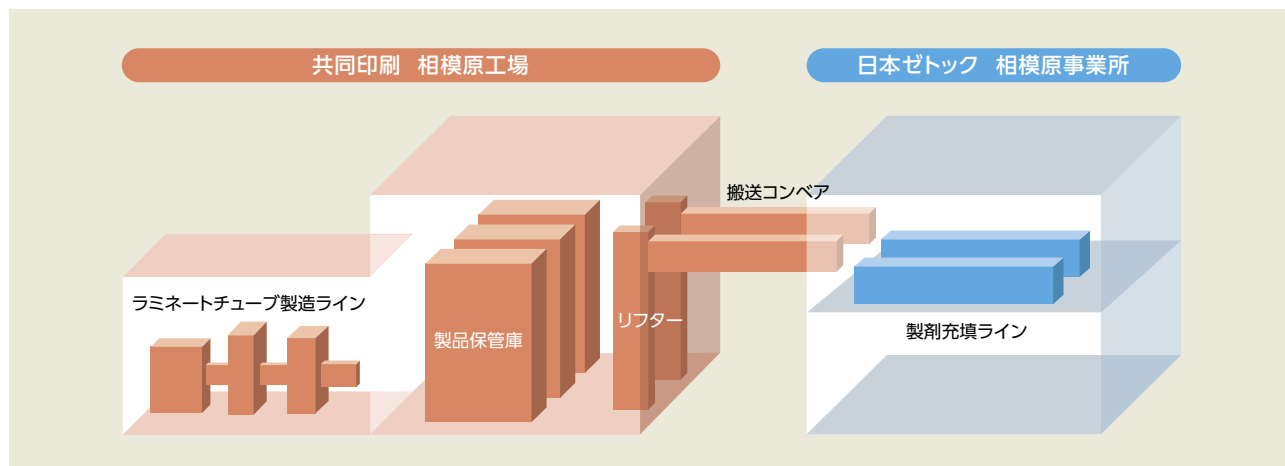


2014年5月から正式に稼働を始めた相模原工場は、高水準な衛生環境を整えた、当社の機能性チューブ製造の最先端工場です。

本工場は、当社のお客さまで、歯磨き製品のOEM製造を行っている日本ゼットック株式会社(以下日本ゼットック)さまの相模原事業所に隣接して建設しています。工場同士を搬送コンベアで直結することで、当社のチューブ製造と日本

ゼットックさまにおける充填・包装作業とを一体化し、共同生産体制を実現しました。

従来は、当社小田原工場で製造したチューブを納品していましたが、本工場の稼働により、トラックによる輸送はもちろん、衛生面や品質の保持のために大量に使用していた梱包材が不要となり、CO₂の大幅な削減を実現しました。さらに、環境負荷の低減と工場周辺の自然環境との共存を



めざし、建物自体にも優れた環境性能を持たせました。外壁には断熱性の高い素材を採用し、従来の工場向け外壁と比べて7倍の断熱性を確保しています。空調には、熱効率に優れたヒートポンプ式を採用して空調コストを大幅に削減しました。また、照明にはすべてLEDを採用しました。これは、衛生管理のために高い天井が必要な室内要件に対応したもので、高所での照明器具の取り替えがほぼ不要になったうえ、電力コストも蛍光灯照明に比べて半減しています。これらにより、工場の建設から運用、解体までのCO₂排出量を年間換算した「ライフサイクルCO₂」の排出量を23%低減しました。こうした一連の取り組みにより、(一財)建築環境・省エネルギー機構の「建築環境性能総合評価システム(CASBEE)」のAランク評価を受けています。

相模原工場は、環境負荷を低減しながら、衛生保持や品質管理の向上を生み出すサプライチェーンの新モデル構築というビジネス面での新機軸と、社会的コストの低減を実現した、今後のビジネスパートナーとの事業展開のあり方を示すものになっています。

概要

名称: 共同印刷(株) 相模原工場
所在地: 神奈川県相模原市緑区大山町4番1号
建築面積: 2,792.81m²(延床面積 4,211.67m²) ※敷地面積6,611.77m²
投資額: 約13億円(工場建設費含む)
製造品目: ラミネートチューブ容器



共同印刷グループ CSR報告書2014

当グループのCSR(企業の社会的責任)の取り組みを掲載しています。送付のご希望は、下記までご連絡ください。

共同印刷(株) コーポレートコミュニケーション部
Email: koho@kyodoprinting.co.jp
Fax: 03-3817-6702

Webサイトでも情報を提供しています。
<http://www.kyodoprinting.co.jp/social-environment/>

生活・産業資材部門

チューブ事業について

●当社のチューブ製造の歴史は古く、現在、歯磨きチューブでは50%以上のシェアがあります。さらにその歴史のなかで培った技術力でさまざまな機能性、デザイン性をそなえた製品を開発。化粧品、医薬品分野など新たな領域にも拡販し、次のチューブ事業の柱に育てていきます。

●ASEAN市場への事業展開を図るため、ベトナムに高品質ラミネートチューブの製造・販売を行う現地法人「Công ty TNHH KYODO PRINTING VIỆT NAM (仮称)」の設立を決定。設立は2014年8月を予定しています。

プレミアムチューブのご紹介



フルプリントラミネートチューブ

従来は不可能だった「チューブの継ぎ目への全面印刷」が可能です。多様なデザインやアート性の高い要求にお応えし、お客さまから高い評価をいただいています。



オーバルラミネートチューブ

なめらかなグラデーションやシズル表現が可能で、マット仕上げや箔押しなど各種加工にも対応しています。高いデザイン性が求められる化粧品分野に最適です。



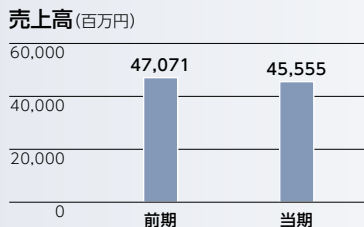
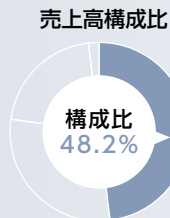
メンブランラミネートチューブ

胸部から口元まで、すべてアルミで覆い、遮断性、遮光性、バリア性を高めました。内容物を確実に保護するので、医薬品などのチューブ容器として最適です。

営業の概況

出版商印部門

- 定期刊行物
- 書籍
- 一般商業印刷
- 電子出版など



売上高
455億5千5百万円

前期比
3.2%減

出版印刷では、市場が縮小するなか、マンガをはじめとするコンテンツのデジタル化サービスの拡大に努めるとともに受注拡大に向けた取り組みを進めました。定期刊行物・書籍ともに減少したため、売上高は前期を下回りました。

一般商業印刷では、ITを活用したサービスメニューの充実に努め、得意先の販促支援や業務支援につながる提案を積極的に進めた結果、カタログやチラシ、販促DMなどが増加しましたが、情報誌やパンフレット類が減少したため、売上高は前期を下回りました。

以上の結果、部門全体での売上高は前期を下回りました。

出版印刷においては、コンテンツを紙とデジタルの双方へ展開するサービスを

さらに強化し、マンガを中心とした受注拡大をめざすとともに、電子書店「自己ガク」関連事業の充実に努めます。

一般商業印刷においては、2013年4月に新設したトータルソリューションオフィスを中心として、お客さまの課題解決に貢献するソリューション提案に努めます。ITを活用したサービスメニューを

充実させるとともに、マーケティングや顧客分析等を含む販促プランの立案、キャンペーン等の事務局業務や在庫管理業務など、各種メニューを複合的に組み合わせた提案を行い、受注拡大をめざします。



出版印刷



一般商業印刷(カタログ・情報誌など)

TOPICS オフセット枚葉機の刷本検査工程を初めてシステム化

2013年10月、ジクス株式会社さまと共同開発した「KP-Inspection System」ケーピー インスペクション システムの販売を開始しました。従来は目視に頼っていた枚葉オフセット印刷の刷本(印刷を終え、まだ製本していない紙)検査工程を初めてシステム化したもので、当社考案の履歴管理システムとジクス社さまの画像解析技術により、独自の品質検査フローを実現しました。

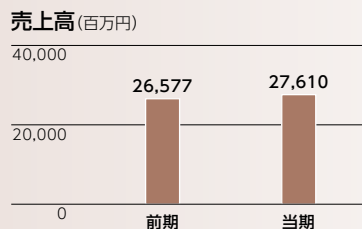
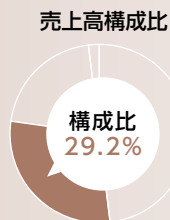
当社は、本システムを枚葉オフセット印刷の主力である小石川工場に導入しています。今後は、グループ会社への導入を進めるとともに、ごみ付着などの印刷不良流出をより確実に防止したいという印刷会社に対しても、ジクス社さまを通じて積極的に提案、販売していきます。



小石川工場の印刷職場

ビジネスメディア部門

- ビジネスフォーム
- データプリント
- BPO業務
- 通帳・証券類
- 各種カードなど



売上高
276億1千万円
前期比
3.9%増

ビジネスメディア部門では、データプリント事業の拡大とBPOの受注拡大に向け得意先への提案活動を推進するとともに、消費税増税に伴う駆け込み需要への対応に努めました。

その結果、データプリントやBPOを含むビジネスフォームが増加し、抽選券などの証券類やIC乗車券をはじめとするICカードも増加したため、部門全体での売上高は前期を上回りました。

当部門では、BPOの受注拡大をめざし、提案活動と体制の整備に取り組んでいます。2013年8月に取得した川島ソリューションセンターのデータ処理事業に関するBCMS国際認証※を生かし、お

客さまから信頼されるサービスを提供します。証券類やICカードでは、新製品の開発と新市場の開拓に取り組むとともに、生産ラインの合理化による収益力向

上を図ります。

※事業継続マネジメントシステム(ISO22301)



ビジネスフォーム・証券など



ICカード

TOPICS スマートフォンアプリ×システムで、 証明写真を簡単作成・効率的に管理

2013年12月、スマートフォンのアプリケーションで証明写真を作成し、システムで受付・管理する「証明写真ソリューション」の提供を開始しました。

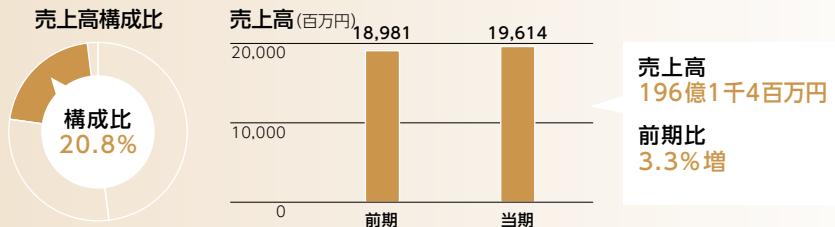
これまで、本人確認の必要な申し込みには、申込者の顔写真を証明写真機などで撮影し、申込書に貼付する必要がありました。本ソリューションでは、スマートフォンで撮影した顔写真を指定サイズに加工し証明写真として簡単に利用できるため、申込者の撮影の手間が軽減されます。また、スマートフォンから送信された顔写真は自動で受付・データベース化されるため、スキャン作業や不備(郵送中の剥がれ落ちなど)が生じません。管理が簡単となり、主催者の業務も効率化します。



スマートフォンで撮影した画像を証明写真用に加工

生活・産業資材部門

- 紙器
- 軟包装
- チューブ
- 建材
- 金属印刷
- 高機能製品など



生活・産業資材部門では、医薬品分野や電子部品分野において「モイストキャッチ®」などの高機能製品の提案を進めるとともに、新規顧客や海外市場の開拓に努めました。また化粧品業界に対し、フルプリント・オーバルラミネートチューブなど当社開発製品の拡販に努めました。



紙器・軟包装・チューブ・金属印刷など

軟包装や建材製品は減少しましたが、高機能製品の受注が拡大した産業資材や化粧品向けが好調だったチューブが増加し、紙器も増加しました。

以上の結果、部門全体での売上高は前期を上回りました。

当部門では、チューブやラップカート



高機能性フィルムの主力製品、吸着・吸湿機能フィルム「モイストキャッチ®」

ンなど既存分野での市場シェア拡大と、高機能製品の拡販による産業資材事業の拡大に取り組んでいます。チューブでは、フルプリント仕様のオーバルラミネートチューブを開発し、ハンドクリームや日焼け止めクリームをはじめとする化粧品用に拡販を進めています。また歯磨き用チューブのさらなる拡大をめざし、2014年3月に相模原工場が竣工しました。産業資材では、「モイストキャッチ®」「オキシキャッチ®」をはじめとした高機能フィルムの機能と用途の拡大を図り、国内外での拡販に注力していきます。

TOPICS アウトガス吸着機能フィルム「オージーキャッチ™」開発

2013年11月、機能性フィルムの新製品「オージーキャッチ™」を開発しました。特徴は、混在する水分(湿気)の影響を受けずにアウトガスなどの低分子揮発成分だけを吸着することです*。これにより、製品への低分子揮発成分の転移が防げ、製品の寿命延長や安定性向上に役立ちます。

現在、有効性が確認できているのはアセトアルデヒド、酢酸エチル、アセトンなどのアウトガスです。今後は適用成分をさらに拡大し、医薬品や電機、電子部品業界などへの拡販に努めます。

*アウトガスと水分(湿気)は同じ機構で吸着されるため、水分を吸着するフィルムでは、より存在量の多い水分を優先的に吸着する特徴があります。

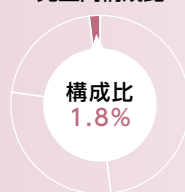


当社の独自技術で実現した「吸着フィルムシリーズ」のひとつです

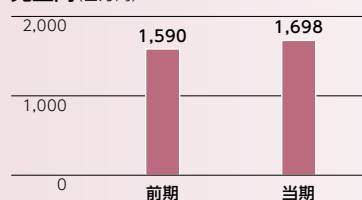
その他

- 不動産管理
- 物流業務など

売上高構成比



売上高(百万円)



売上高
16億9千8百万円
前期比
6.8%増

連結子会社における物流業務、保険取扱業務、不動産管理業務が主たる業務です。

物流業務などの増加により部門全体の売上高は前期を上回りました。



共同物流株式会社
越生保管センター

TOPICS 当社が製造に携わった製品が、各コンクールで賞を受けました

カタログ・ポスターの秀作が集合

第55回 全国カタログ・ポスター展

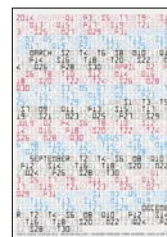
- カタログ・PR誌部門 金賞/カタログ部門 日本マーケティング協会賞 株式会社資生堂「花椿」(11冊組)
- カタログ・PR誌部門 実行委員会奨励賞 株式会社ポーネランド「遊ぶことは生きること」



印刷技術やデザイン力、機能性に優れた作品を厳選

第65回 全国カレンダー展

- 第1部門(一般企業および印刷会社自社用カレンダー) 銀賞 清水建設株式会社 株式会社資生堂
- 実行委員会奨励賞 住友林業株式会社



連結財務諸表の概要

前期(133期)…2013年3月期(2012年4月1日から2013年3月31日まで)
 当期(134期)…2014年3月期(2013年4月1日から2014年3月31日まで)

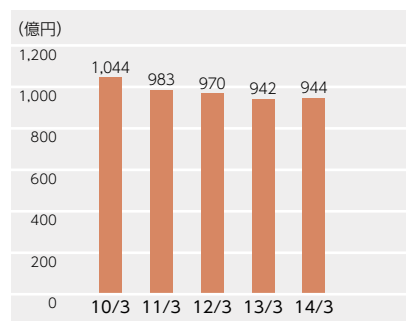
●連結貸借対照表

	前期末	当期末
資産の部		
流動資産	47,482	46,026
固定資産	49,256	49,978
有形固定資産	38,141	37,378
無形固定資産	980	1,237
投資その他の資産	10,133	11,363
資産合計	96,738	96,004
負債の部		
流動負債	28,504	29,817
固定負債	18,394	15,112
負債合計	46,898	44,930
純資産の部		
株主資本	47,896	48,785
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	42,188	43,078
自己株式	△ 545	△ 545
その他の包括利益累計額	1,944	2,283
その他有価証券評価差額金	1,942	2,665
為替換算調整勘定	2	15
退職給付に係る調整累計額	—	△ 397
少数株主持分	—	5
純資産合計	49,840	51,074
負債純資産合計	96,738	96,004

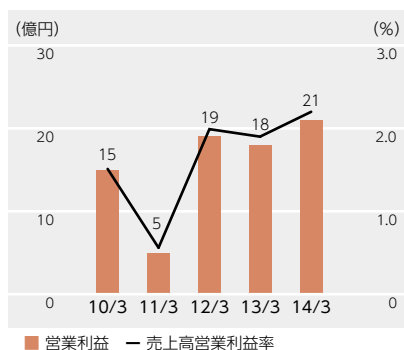
●連結損益計算書

	前期	当期
売上高	94,220	94,479
売上原価	79,210	78,881
売上総利益	15,010	15,598
販売費及び一般管理費	13,196	13,498
営業利益	1,813	2,100
営業外収益	973	970
営業外費用	344	238
経常利益	2,443	2,832
特別利益	257	32
特別損失	354	193
税金等調整前当期純利益	2,346	2,671
法人税等合計	909	1,076
少数株主損益調整前当期純利益	1,437	1,595
少数株主利益	—	2
当期純利益	1,437	1,592
(注)一般管理費および当期製造費用に 含まれる研究開発費	1,596	1,481

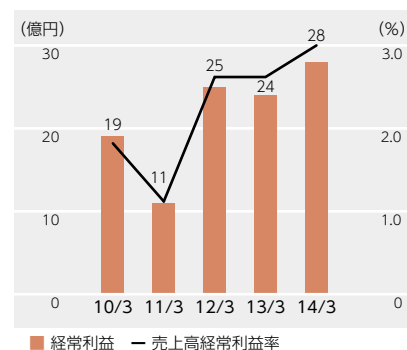
売上高



営業利益／売上高営業利益率



経常利益／売上高経常利益率



●連結株主資本等変動計算書(2013年4月1日から2014年3月31日まで)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	4,510	1,742	42,188	△ 545	47,896	1,942	2	—	1,944	—	49,840
当期変動額											
剰余金の配当			△ 702		△ 702						△ 702
当期純利益			1,592		1,592						1,592
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						723	13	△ 397	339	5	344
当期変動額合計	—	—	890	△ 0	889	723	13	△ 397	339	5	1,234
当期末残高	4,510	1,742	43,078	△ 545	48,785	2,665	15	△ 397	2,283	5	51,074

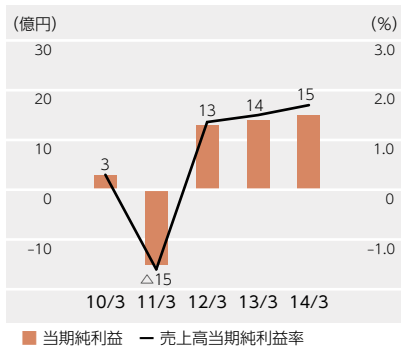
●連結包括利益計算書

	前期	当期
少数株主損益調整前		
当期純利益	1,437	1,595
その他の包括利益	1,299	736
その他有価証券評価差額金	1,159	720
為替換算調整勘定	137	13
持分法適用会社に対する持分相当額	2	2
包括利益	2,737	2,331
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,737	2,329
少数株主に係る包括利益	—	2

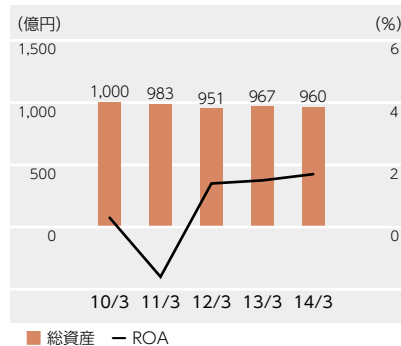
●連結キャッシュ・フロー計算書

	前期	当期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,197	8,065
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,216	△ 3,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,770	△ 4,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	9
現金及び現金同等物の増減額	1,225	193
現金及び現金同等物の期首残高	11,851	13,077
現金及び現金同等物の期末残高	13,077	13,271

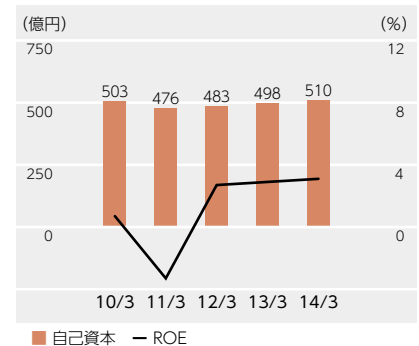
当期純利益／売上高当期純利益率



総資産／総資産利益率(ROA)



自己資本／自己資本利益率(ROE)

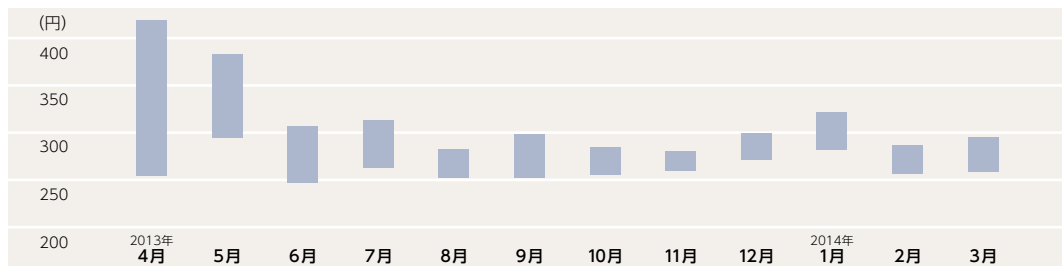


株式の状況 (2014年3月31日現在)

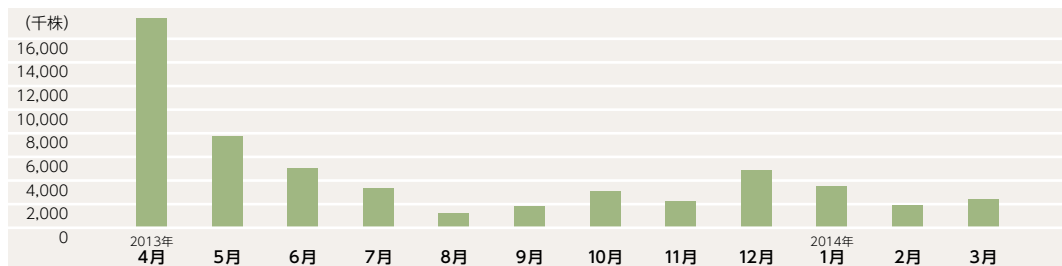
● 株価および売買高の推移 (東京証券取引所)

株価の推移

(終値ベースの高低)



売買高の推移



● 大株主の状況

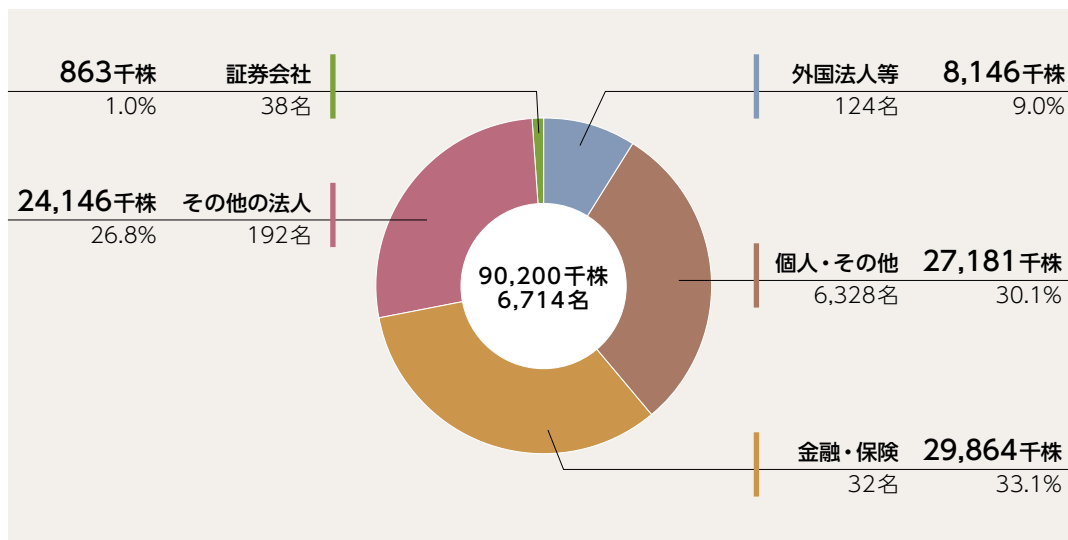
氏名または名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	11,652	12.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・DIC株式会社口)	8,541	9.47
東京インキ株式会社	5,830	6.46
株式会社みずほ銀行	2,831	3.14
東洋インキSCホールディングス株式会社	2,169	2.41
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	2,065	2.29
朝日生命保険相互会社	2,000	2.22
共同印刷従業員持株会	1,870	2.07
三井住友信託銀行株式会社	1,482	1.64
清水建設株式会社	1,059	1.17

※当社は自己株式2,366,552株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しています。

●株式の状況

発行可能株式総数	360,800,000株
発行済株式総数	90,200,000株
単元株式数	1,000株
株主数	6,714名

●株式分布状況——所有者別状況 (株式数比率)



共同印刷グループネットワーク

会社商号	共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業年月日	1897(明治30)年 6 月25日
設立年月日	1925(大正14)年12月26日
資本金	45億1千万円
本社	〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12 Tel. 03-3817-2071 (CSR本部コーポレートコミュニケーション部)

●役員紹介 (2014年6月27日付)

取締役

代表取締役会長	稲木 歳明
代表取締役社長	藤森 康彰
専務取締役	三吉 幹夫
常務取締役	清水 市司
常務取締役	大澤 春雄
常務取締役	人見 実
常務取締役	井戸 一喜
常務取締役	大久保隆司
取締役	齋藤 文孝
取締役	今村 敏夫
取締役	梶山 正義
取締役	渡邊 秀典
取締役	里村 憲治
取締役	汲井 隆

監査役

常勤監査役	小笠原 誠
常勤監査役	宮城 忠雄
社外監査役	小澤 優一 弁護士
社外監査役	公文 敬

●製造工場およびグループ会社

(2014年4月1日現在)

出版商印部門

小石川工場
五霞工場
越谷工場(共同オフセット株式会社)
苫小牧工場(株式会社コスモグラフィック)
小石川プロセス株式会社
共同印刷製本株式会社
デジタルカタパルト株式会社

ビジネスメディア部門

鶴ヶ島工場
川島ソリューションセンター
京都工場(共同印刷西日本株式会社)

生活・産業資材部門

小田原工場
相模原工場
和歌山工場
守谷第一工場
守谷第二工場
磯原工場(常磐共同印刷株式会社)
共印商貿(上海)有限公司

その他

共同物流株式会社
共同総業株式会社
共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社
(関連会社)
共同製本株式会社

共同印刷オリジナル技術「彩美版®」

小倉遊亀 夏草 株主さま特別価格でご案内

受付期間:

2014年6月30日から

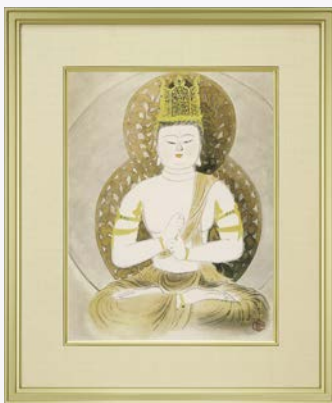
2014年9月30日まで

画題「夏草」は松尾芭蕉の名句から取られたもので、朝日新聞連載の大佛次郎氏の歴史エッセイ「義経の周囲」の挿絵として描かれました。中尊寺の秘仏《一字金輪佛頂尊》が、透明感溢れる柔らかな色彩、繊細かつ大胆な筆遣いで描かれています。

今回は期間限定で、「株主通信」をご覧の株主さまに、特別価格でご案内します。

彩美版® 小倉遊亀 夏草

【仕様体裁】 技法 彩美版®, シルクスクリーン手摺り、一部本金泥使用
※「彩美版®」は、ハンドメイドのよさと最新の画像処理技術を融合させた最高レベルの版画(複製画)技術です。
用紙 越前和紙

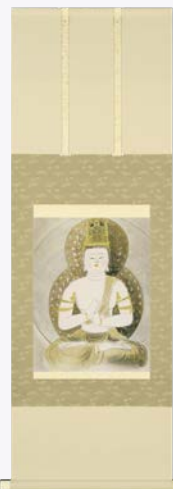


額装

額縁 特製木製額金泥仕上げ
画寸 天地39.5×左右30.0cm
額寸 天地57.5×左右48.0cm
重量 2.3kg
付属 黄布袋、吊紐

掛軸

表装 三段表装
画寸 天地40.5×左右30.5cm
軸寸 天地126.5×左右42.5cm
付属 柱目桐箱、タトウ



美術をもっと楽しむためのウェブマガジン
「美術趣味」のご案内

美術
趣味 BIJUTSU
SHUMI

<http://bijutu-shumi.com/>

こちらのサイトでは、左記の商品のほかにも多数の商品をご紹介します。是非ご覧ください。

特別価格

1点(額装または掛軸) 145,800円(税込)

希望小売価格

1点(額装または掛軸) 194,400円(税込)

※ 特別価格は希望小売価格に対する割引後の価格です。
※ 返品は、商品到着後8日以内、返品送料はご注文者さまご負担をお願いします。

< 切りとり線 >

高級美術複製画 注文書

共同印刷株式会社 行

下記のとおり注文します。

作品名 彩美版® 小倉遊亀 夏草 額装・掛軸 (いずれかに○) 金額 145,800円

ふりがな

お名前(会社名) 印

TEL FAX

※お振込名義がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。

()

納品先ご住所 〒

TEL

※お届け先名がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。

お名前(会社名)

ご注文方法

左の注文書にご記入の上、FAX送信、または下記住所あてにご郵送ください。

共同印刷株式会社

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12

FAX 03-3817-6702 24時間受付

お支払方法(代金前払い/口座振込のみ)

お申し込み受け付け完了後、当社よりお支払方法をご連絡します。商品はお入金を確認次第発送します。

※ 振込手数料はご注文者さまでご負担ください。送料・梱包料は、当社にて負担します。(海外発送は別途相談)

本件についてのお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

TEL 03-3817-2071

Email koho@kyodoprinting.co.jp

株式のご案内

決算期 3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 定時株主総会・期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要あるときは予め公告する日
公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。
公告およびIR情報などを掲載するWebサイト(URL)
<http://www.kyodoprinting.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各
支店で行っています。

お知らせ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

以上